

第三者審査にあたって

トヨタでは、「Environmental & Social Report 2003」の正確性及び客観性の向上のため、第三者審査のプロセスを付加することが重要だと考えています。

そのため、「Environmental & Social Report 2003」に記載されている情報について、右ページの図に示したように、

デロイト トウシュ トーマツ の一員である株式会社トーマツ環境品質研究所による第三者審査を受けています。

第三者審査手続概要は同社のホームページに開示されていますのでご覧ください。



<http://www.teri.tohatsu.co.jp>

第三者意見書

平成15年7月3日

トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 張 富士夫 殿

株式会社トーマツ環境品質研究所
(デロイト トウシュ トーマツ グループ)

代表取締役社長
(公認会計士)

古室正充

執行役員
(公認会計士)
(環境審査員)

間瀬美鶴子

1. 審査の目的

当環境品質研究所では、トヨタ自動車株式会社の責任において作成された同社のEnvironmental & Social Report 2003に対して、正確性の向上に資することを主な目的として、会社と合意した手続に従って審査を行い、同社のEnvironmental & Social Report 2003について独立した立場で意見を表明する。
なお、この意見は、社会的に合意された報告書に関する作成基準及び審査基準が確立されていない現段階において、トヨタ自動車株式会社より提示されたデータ及び質問を基礎に正確性に関わる心証形成をしているため、正確性の保証レベルについても一定の限界を有している。

2. 審査の手続

当環境品質研究所は、Environmental & Social Report 2003について以下の審査手続を実施した。

- (1) 掲載されている情報の収集過程とその集計方法の合理性を審査した。
- (2) 掲載されている内容について、作成責任者に対する質問及び関連する議事録の閲覧、ISO14001関連資料との照合、その他根拠資料となる利用可能な内部資料及び外部資料と比較し検討した。
なお、「連結環境マネジメント」に記載されている「グローバル環境データ」の連結環境マネジメント対象会社のデータ及び「環境取り組み事例」については、各社より送付された記録類の閲覧及び照合を行うとともにトヨタ自動車株式会社の作成責任者に対する質問を実施した。

3. 結論

審査の結果、当環境品質研究所の意見は、次のとおりである。

- (1) Environmental & Social Report 2003に掲載されている情報は、トヨタ自動車株式会社及び連結環境マネジメント対象会社の業務から出された情報を適切に集計したものである。
- (2) Environmental & Social Report 2003に掲載されている情報は、当環境品質研究所が審査の間に入手した根拠資料と矛盾していない。

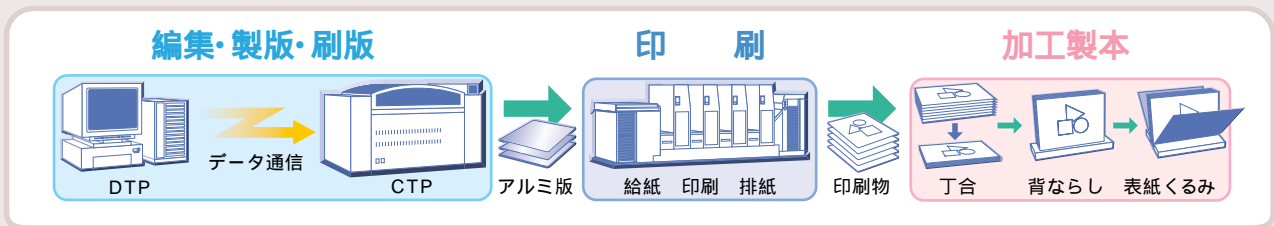
以上

第三者意見表明に関する実施手続の補足説明

第三者意見表明に当たり、審査手続の手順概要を補足説明として以下に示します。
 なお、審査手続の詳細については、弊社ホームページ(<http://www.teri.tohatsu.co.jp>)に開示しております。



このレポートの制作にあたって下記の環境配慮をしました。



▶ 編集・製版・刷版

編集・製版・刷版は写植・版下・組版を電子化 (DTP: Desk Top Publishing) し、情報をアルミニウムの版(印刷用の版)に直接焼き付けるCTP(Computer To Plate)を採用しました。これにより従来使用していた版下用の印画紙・用紙、焼き付け用フィルムおよびフィルムの現像液と定着液が不要となりました。

▶ 印刷

印刷は水なし印刷を採用。従来水あり印刷で使用していた、湿し水の成分であるイソプロピルアルコールを使用していません。また紙は環境配慮型の再生紙を使用。インキは石油系溶剤を大豆油系溶剤に替えた、VOC-FREE水なし印刷用インキを開発しました。

▶ 加工製本

印刷した用紙を加工して製本する際、接着剤に古紙再生時紙との分離除去が容易なポリウレタン系の接着剤を使用しています。また加工時の断裁によって発生した余白紙は、製紙会社に再び再生紙になります。

印刷の全ての工程はISO14001を取得した工場を実施しています。